

# 2012年3月期決算の概要

2012年5月10日

日本ユニシス株式会社  
代表取締役専務執行役員  
龍野隆二



# 2012年3月期 連結経営成績

(億円)

	2012年3月期		2011年3月期		前期比増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	2,551	100.0%	2,530	100.0%	+21	+0.8%
売上総利益	636	24.9%	659	26.0%	▲23	▲3.5%
販売費及び一般管理費	563	22.0%	594	23.5%	▲31	▲5.2%
営業利益	73	2.9%	65	2.6%	+8	+12.0%
経常利益	71	2.8%	58	2.3%	+13	+21.7%
税金等調整前純利益	6	0.2%	38	1.5%	▲33	▲84.6%
当期純利益	※ ▲125	-	26	1.0%	▲151	-
受注高	2,679	-	2,508	-	+170	+6.8%

※繰延税金資産の取崩し126億円を含んでおります。

(注)本資料における億円単位の数値は四捨五入により算出しております。

# 2012年3月期 キャッシュ・フローと連結財政状態



(億円)

	2012年3月期	2011年3月期	前期比増減
営業キャッシュ・フロー	134	217	▲83
投資キャッシュ・フロー	▲106	▲112	+5
フリー・キャッシュ・フロー	28	105	▲78

(億円)

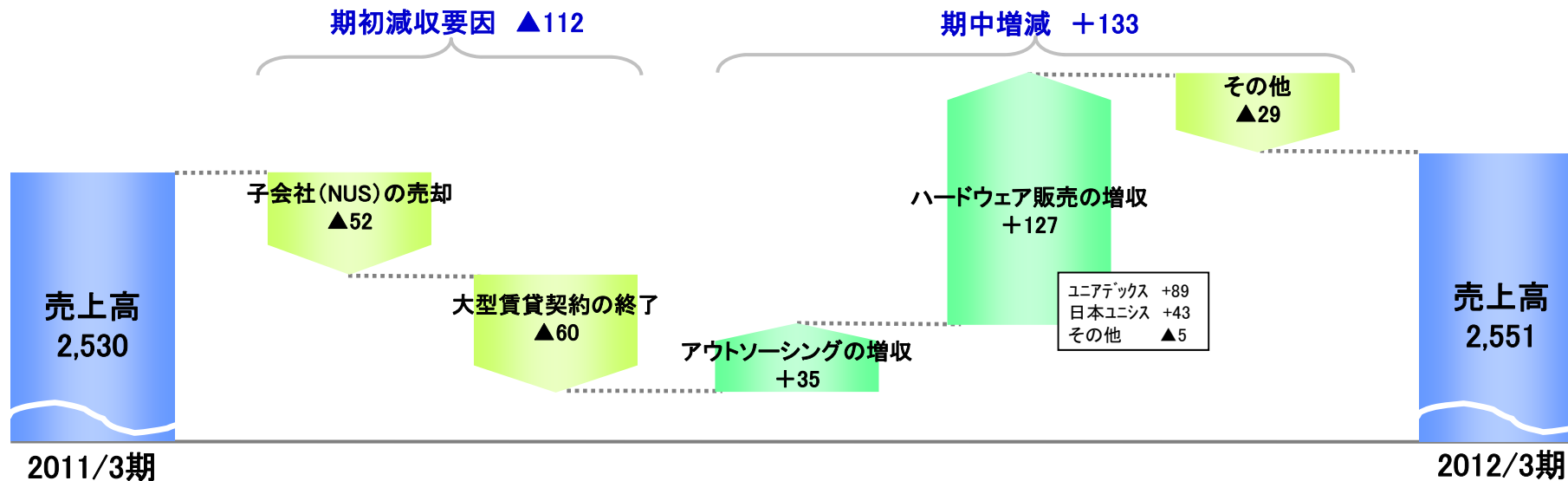
	2012年3月期末	2011年3月期末	前期末比増減
総 資 産	1,901	2,073	▲172
負 債	1,269	1,305	▲37
純 資 産	632	768	▲135
有 利 子 負 債	742	789	▲48
純 有 利 子 負 債 ※	469	485	▲16
自 己 資 本 比 率	32.6%	36.4%	▲3.9%
D / E レ シ オ	1.20倍	1.05倍	+0.15倍
ネ ッ ト D / E レ シ オ	0.76倍	0.64倍	+0.12倍

※純有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び預金

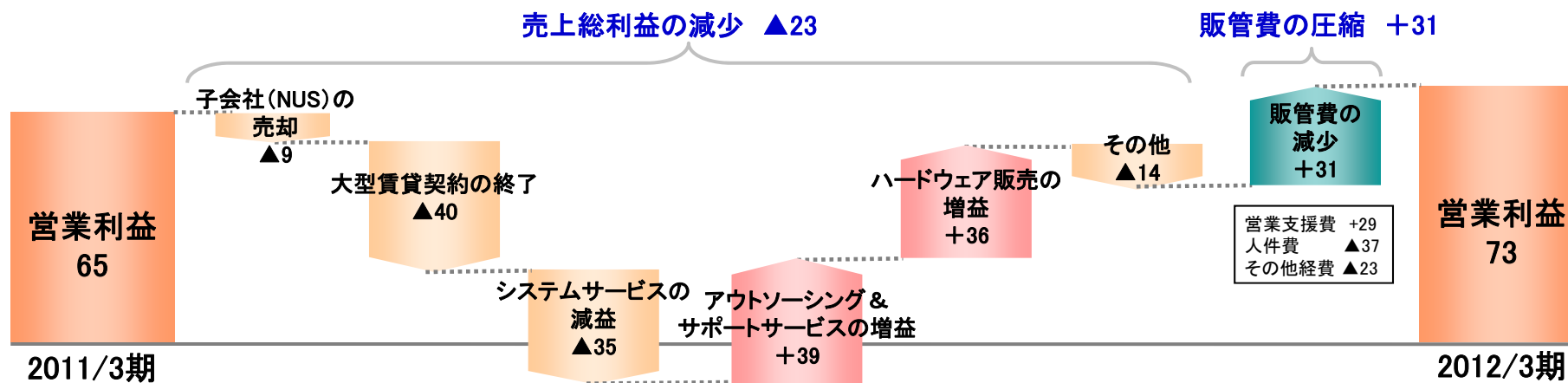
# 2012年3月期 売上高・営業利益の前期比増減要因

(単位: 億円、増減は前期比)

## 【売上高の分解図】



## 【営業利益の分解図】



# 2012年3月期 セグメント別売上高・売上総利益の状況



(億円)

	2012年3月期			前期比増減			主な増減要因
	売上高	総利益	総利益率	売上高	総利益	総利益率	
合計	2,551	636	24.9%	+21	▲23	▲1.1pt	大型賃貸契約終了、子会社売却の影響をカバーして増収
内訳							
システムサービス	717	154	21.5%	▲19	▲35	▲4.2pt	大型開発の狭間のため減収 一部案件のコスト増で利益率悪化
サポートサービス	529	206	38.9%	▲11	+24	+5.2pt	前期までの製品販売減から減収も 原価低減により利益率は改善
アウトソーシング	319	41	12.8%	+35	+15	+3.6pt	地銀アウトソーシングの新規稼働で増収 運用効率改善
ネットマークスサービス	220	46	21.1%	+17	+5	+0.9pt	回復傾向が継続 原価低減により利益率もやや改善
その他サービス	87	31	35.8%	▲64	▲8	+9.9pt	子会社(前期売上高52億円)売却 大型賃貸契約終了の影響
ソフトウェア	233	55	23.8%	▲35	▲37	▲10.6pt	利益率の高い月額契約の減少や 前期自社製品計上の反動減で減収減益
ハードウェア販売	388	58	15.0%	+127	+36	+6.5pt	子会社を中心に機器販売が好調 利益率も上昇
ハードウェア賃貸	58	43	75.0%	▲29	▲24	▲2.5pt	大型賃貸契約終了の影響

# 2012年3月期 セグメント別受注残高



(億円)

	2012年3月期末		2011年3月期末		前期末比増減			
	受注残高	うち 翌期売上予定	受注残高	うち 翌期売上予定	受注残高		うち 翌期売上予定	
合計	1,984	1,033	1,856	915	+128	+6.9%	+118	+12.9%
内訳								
システムサービス	218	191	136	132	+82	+60.3%	+59	+44.7%
サポートサービス	393	315	353	310	+40	+11.2%	+5	+1.7%
アウトソーシング	1,045	260	1,105	251	▲60	▲5.4%	+9	+3.6%
ネットマークスサービス	65	56	83	75	▲18	▲21.8%	▲20	▲26.2%
その他サービス	41	19	18	18	+22	+121.2%	+2	+9.6%
ソフトウェア	115	89	84	65	+30	36.2%	+24	+37.6%
ハードウェア販売	59	59	23	23	+36	+161.1%	+36	+161.3%
ハードウェア賃貸	48	42	53	41	▲5	▲10.2%	+2	+3.9%

# 2013年3月期 業績予想



(億円)

	2013年3月期 予想		2012年3月期		前期比増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	2,650	100.0%	2,551	100.0%	+99	+3.9%
営業利益	90	3.4%	73	2.9%	+17	+23.1%
経常利益	83	3.1%	71	2.8%	+12	+17.0%
当期純利益	48	1.8%	▲125	-	+173	-

(億円)

	2013年3月期 上期予想			2013年3月期 下期予想		
	金額	前年同期比増減		金額	前年同期比増減	
売上高	1,185	+15	+1.2%	1,465	+84	+6.1%
営業利益	26	+6	+30.3%	64	+11	+20.4%
経常利益	24	+6	+32.9%	59	+6	+11.5%
当期純利益	14	+7	+103.4%	34	+166	-

# 2013年3月期 キャッシュ・フローおよびバランスシートの予想



(億円)

	2013年3月期予想	2012年3月期	前期比増減
営業キャッシュ・フロー	180	134	+46
投資キャッシュ・フロー	▲110	▲106	▲4
フリー・キャッシュ・フロー	70	28	+42

(億円)

	2013年3月期末予想	2012年3月期末	前期末比増減
有利子負債	652	742	▲90
純有利子負債※	409	469	▲60
自己資本比率	35.6%	32.6%	+3.0%
D / E レシオ	0.98倍	1.20倍	▲0.21倍
ネット D / E レシオ	0.62倍	0.76倍	▲0.14倍
R O E	7.5%	-	-
1株当たり配当金	10.00円	5.00円	+5.00円

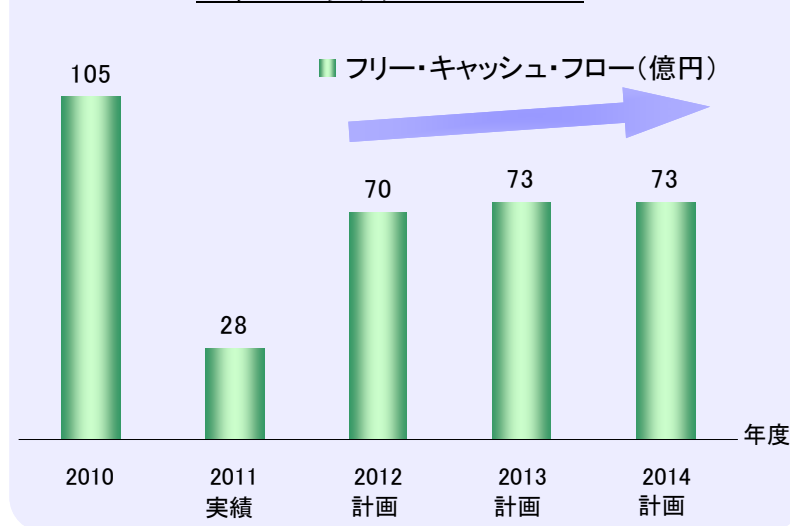
※純有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び預金



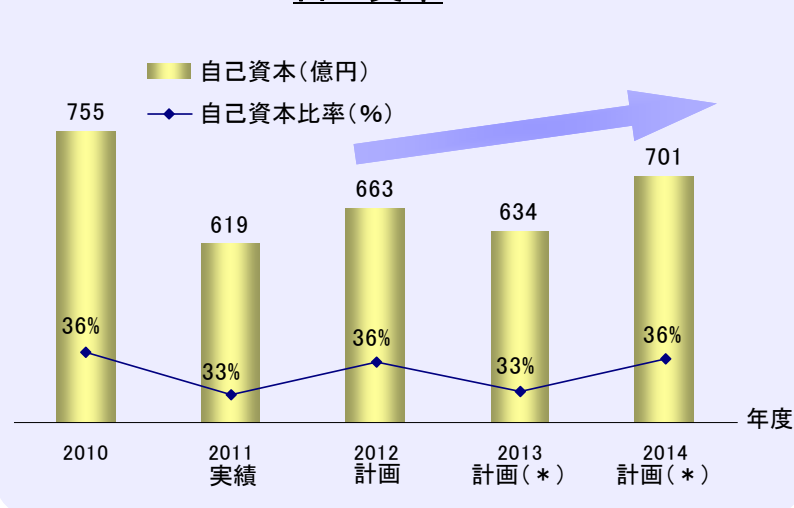
## キャッシュフローを改善し、財務体質を強化

- 確実に計画を達成し、利益を積み上げることで、自己資本を充実させる。
- 適切な範囲内(減価償却の範囲内)での投資を行い、フリー・キャッシュ・フローを安定的に創出する。
- 自己資本の充実を図り、有利子負債を適正な水準に圧縮することで、D/Eレシオの改善を図る。

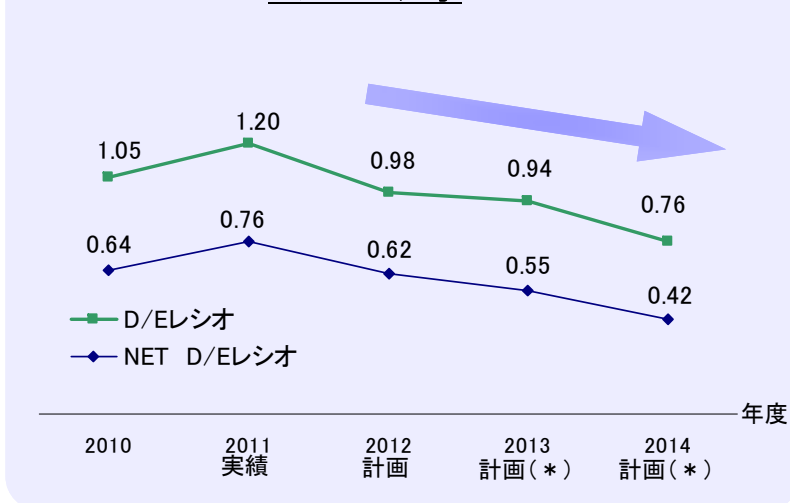
## フリー・キャッシュ・フロー



## 自己資本



## D/Eレシオ



(\*) 会計基準変更(予定)に伴う、年金未認識債務の一括計上による影響見込額(85億円)を反映。

日本ユニシス株式会社



# 2012年度計画

中期経営計画(2012→2014)

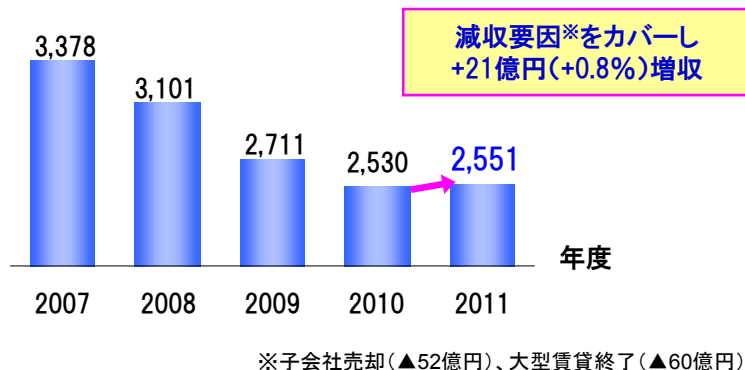
---

2012年5月10日

代表取締役社長  
黒川茂

## 利益水準回復に向け「減収傾向をくいとめる」

### 売上高 (億円)



### 重点施策／進捗

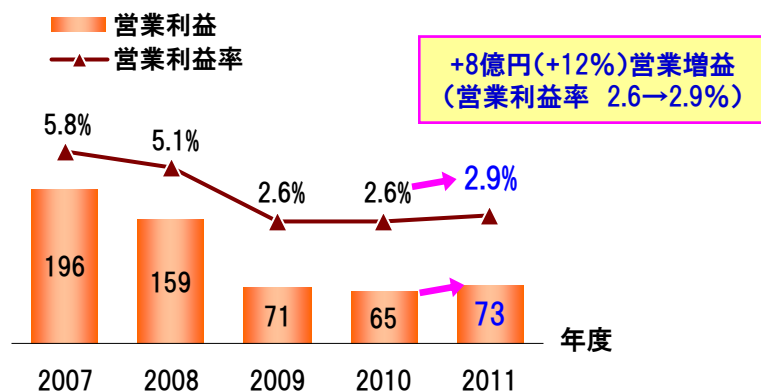
- システムサービスの受注拡大
  - ✓回復基調に転換 (受注 前期比+14%)
- サポートサービスにつながる製品販売の強化
  - ✓ハードウェア販売は好調維持 (売上 前期比+49%)
  - ⇒サポートサービス売上回復へ

### 課題

- システム開発での不採算発生  
⇒再発防止に向けた体制強化

## 収益性向上に向け「構造改革に取り組む」

### 営業利益 (億円)



### 重点施策／進捗

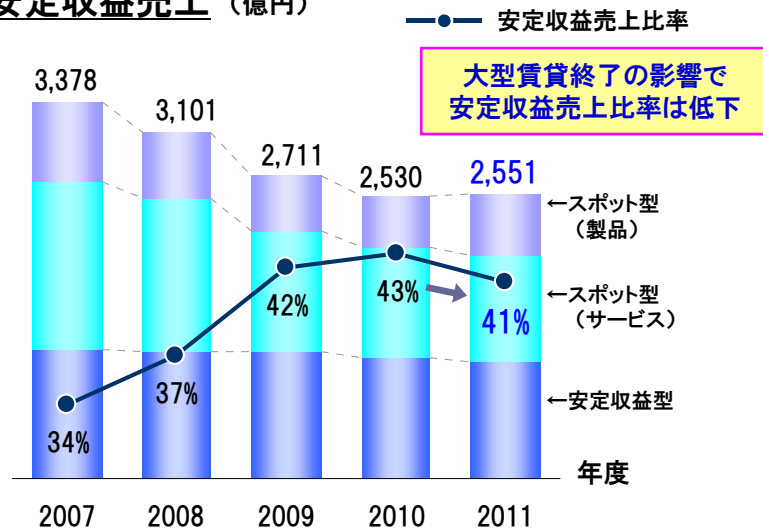
- アウトソーシング事業の収益改善
  - ✓アウトソーシング採算性向上 (利益率 9.1%→12.8%)
- コスト構造改革での競争力強化
  - ✓コスト対策を継続 (販管費 594→563億円)

### 課題

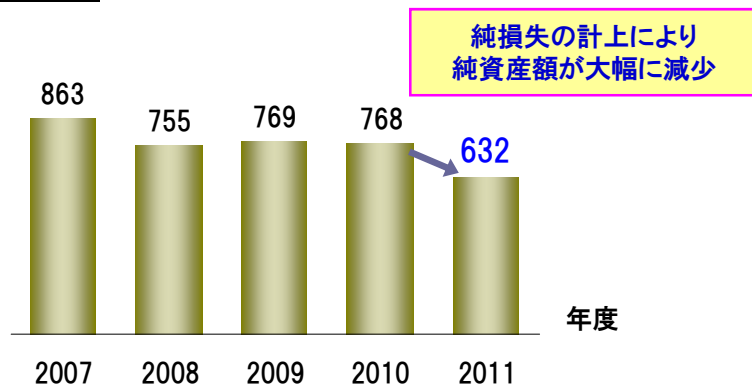
- 地銀アウトソーシング事業の販売遅延 (2行→1行)  
⇒勘定系Bank Visionの拡販とともに採用行の周辺システムへの領域拡大

## 安定的、持続的成長に向け「成長施策を推進する」

安定収益売上 (億円)



純資産 (億円)



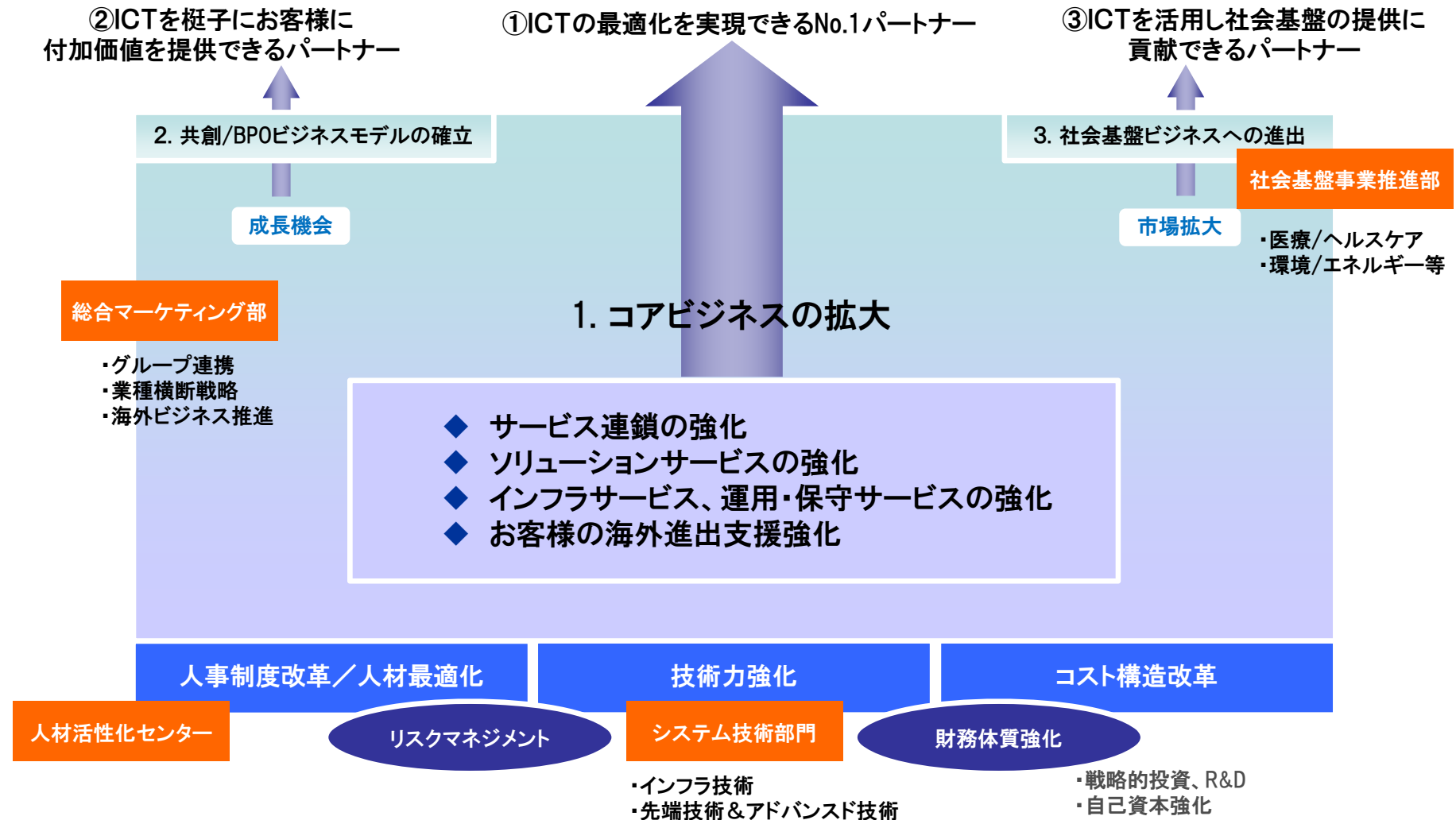
### 重点施策／進捗

- アウトソーシングの伸張
  - ✓S-BITS新規稼働など (売上 前期比+12%)
- 新たなサービス事業の創出
  - ✓新潟県佐渡市において医療連携システムの案件獲得
  - ✓ギフトカードモール事業において順調に販売数増加
- 計画達成
  - ✓売上高 2,550億円
  - ✓営業利益 70億円
 達成

### 課題

- 依然、4Qに通期業績が依存
- 大型不採算計上がトリガーとなり繰延税金資産の大規模な取崩し
  - ⇒安定収益基盤の更なる強化とリスク管理体制の強化が急務
- 純損失計上により自己資本減少
  - ⇒中期経営計画の確実な達成で財務体質強化をはかる

3年でコアビジネスの拡大により収益基盤を安定化し  
加えて新たな機会からビジネス拡大を目指す

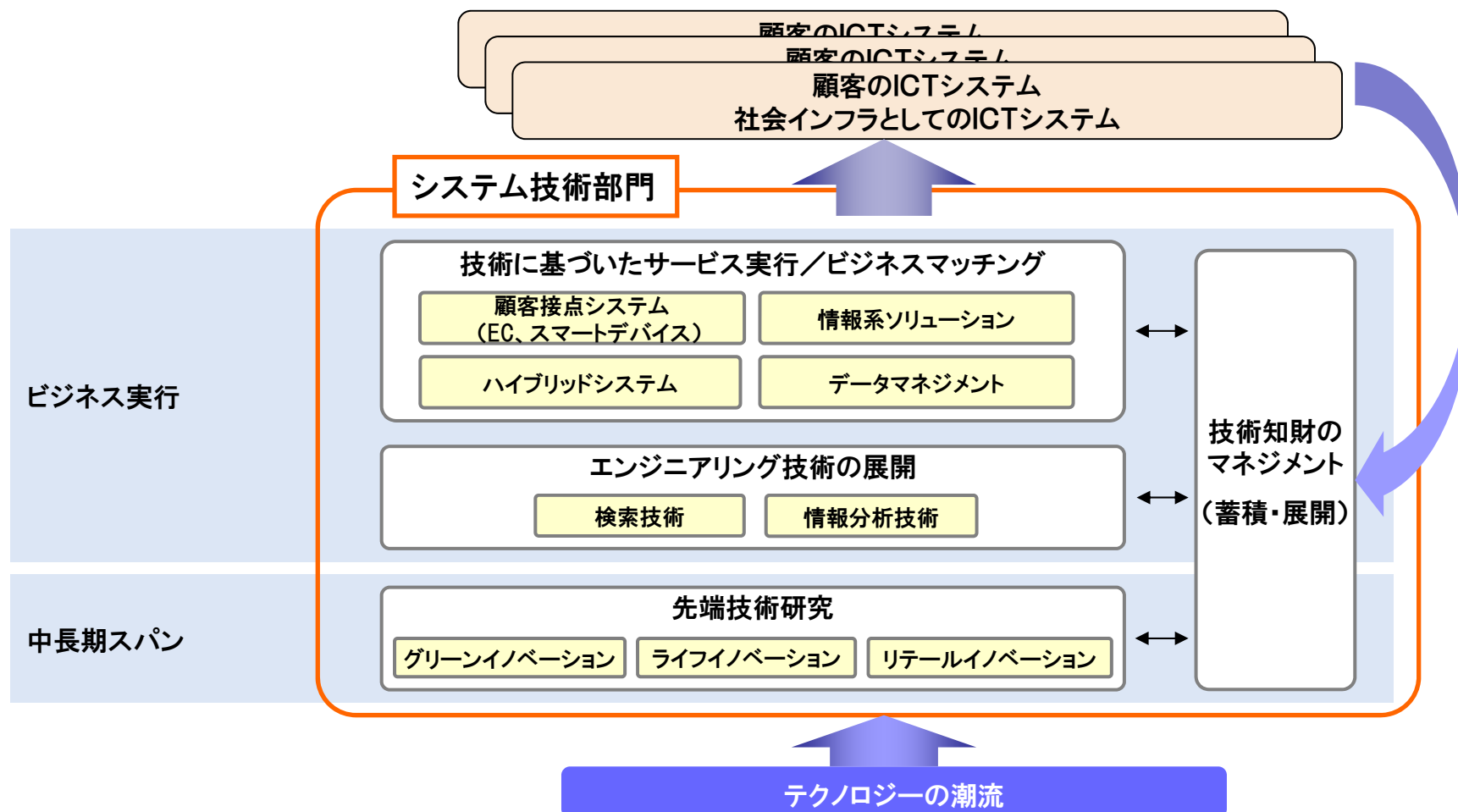


## 「働きやすい会社」から「働きがいのある会社」への変革を図る

項目	施策	進捗／予定
<b>■人事制度改革</b> 「働きがいのある会社へ」	メリハリのある評価運用  新人事制度への改革  人員数の最適化	現行評価制度において運用面を徹底  制度設計中、2013年度から運用開始予定  随時実施中(グループ外への出向、転籍など)
<b>■人材育成強化</b>	キャリアデザインの導入 ・ICT最適化 ・共創/社会基盤ビジネス	施策設計中、2013年度から運用開始予定
▶人材育成推進		
▶人材最適配置 「事業構造の変化に 適応した人材配置」	人材活性化センターの設置	“間接要員→運用／保守要員への再配置”から着手 ～4月から40名を育成中、7月再配置予定 今期中に3サイクル、3年間で450名程度の再配置を目指す

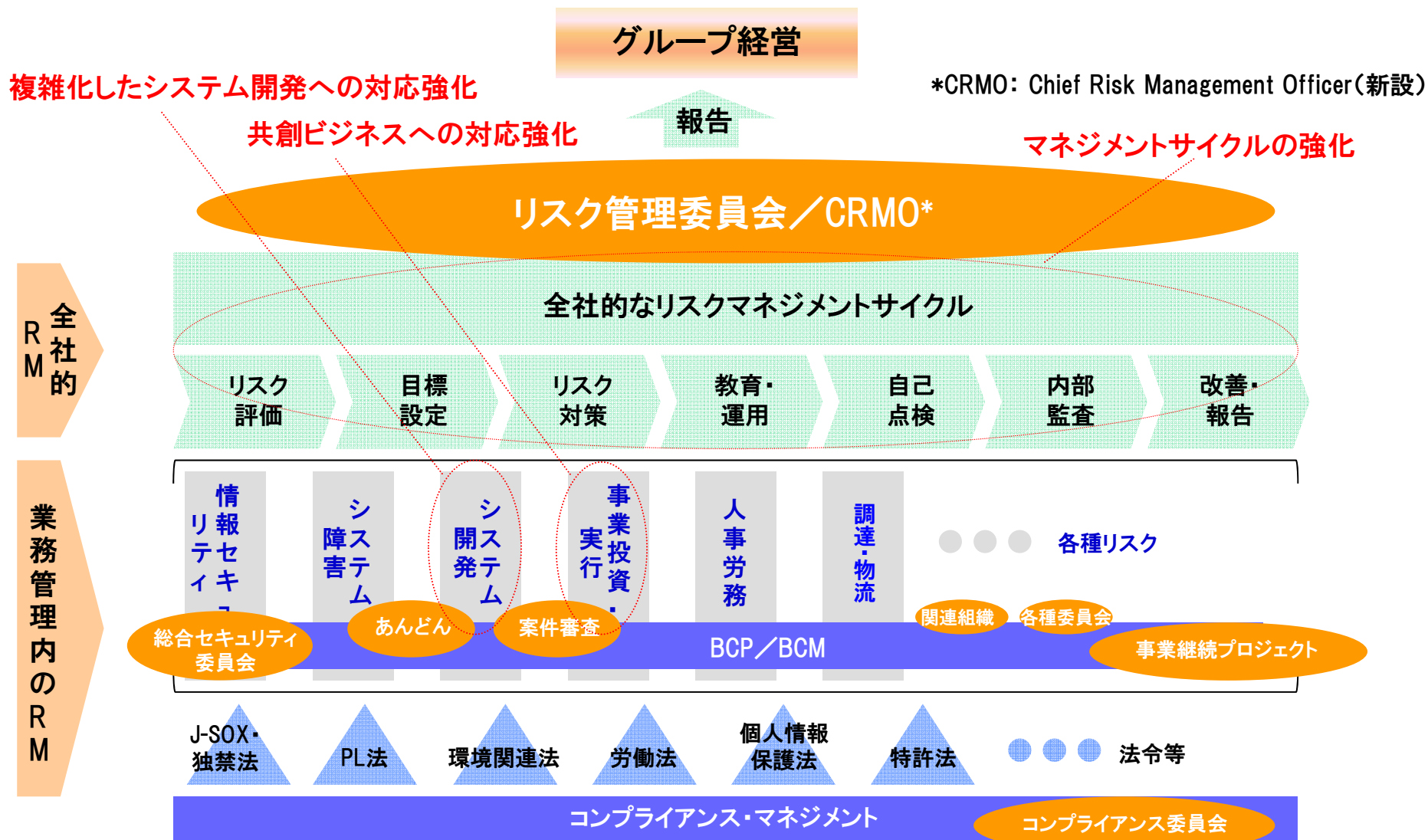
## 2012年度の主要施策② 技術戦略

中長期的な成長を技術面から支える仕組みとして、システム技術部門を統合  
新技術の調査・研究からデリバリのスピードアップと  
ICTシステムの最適化実現に向け、グループ技術力の強化を図る



# 2012年度の主要施策③ リスクマネジメント

新たな課題に対応し統制を強化する





# 2012年度の業績計画

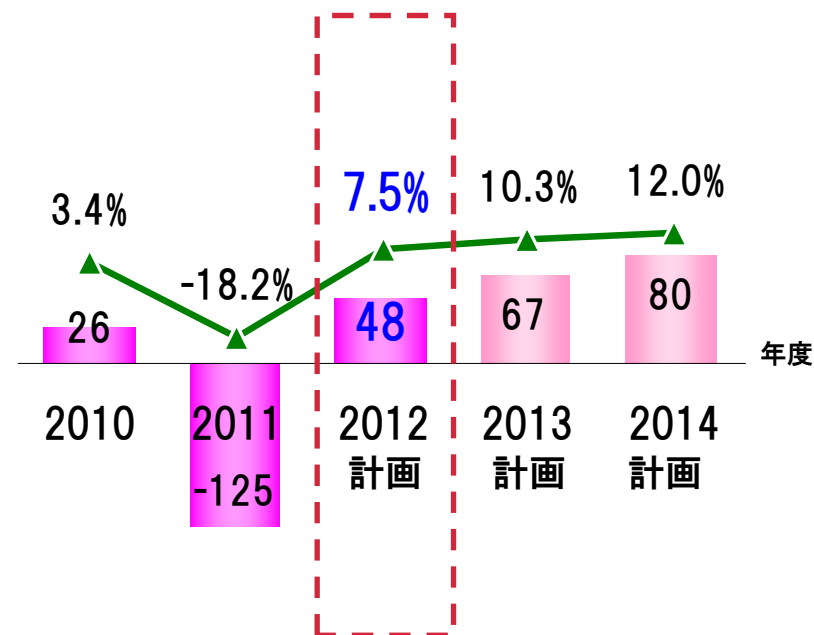
中期経営計画初年度の2012年度計画を必達

■ 売上高	2,650億円
■ 営業利益	90億円
■ 当期純利益	48億円
■ 通期配当	1株当たり10円

■ 売上高 (億円)  
—◆— 営業利益率

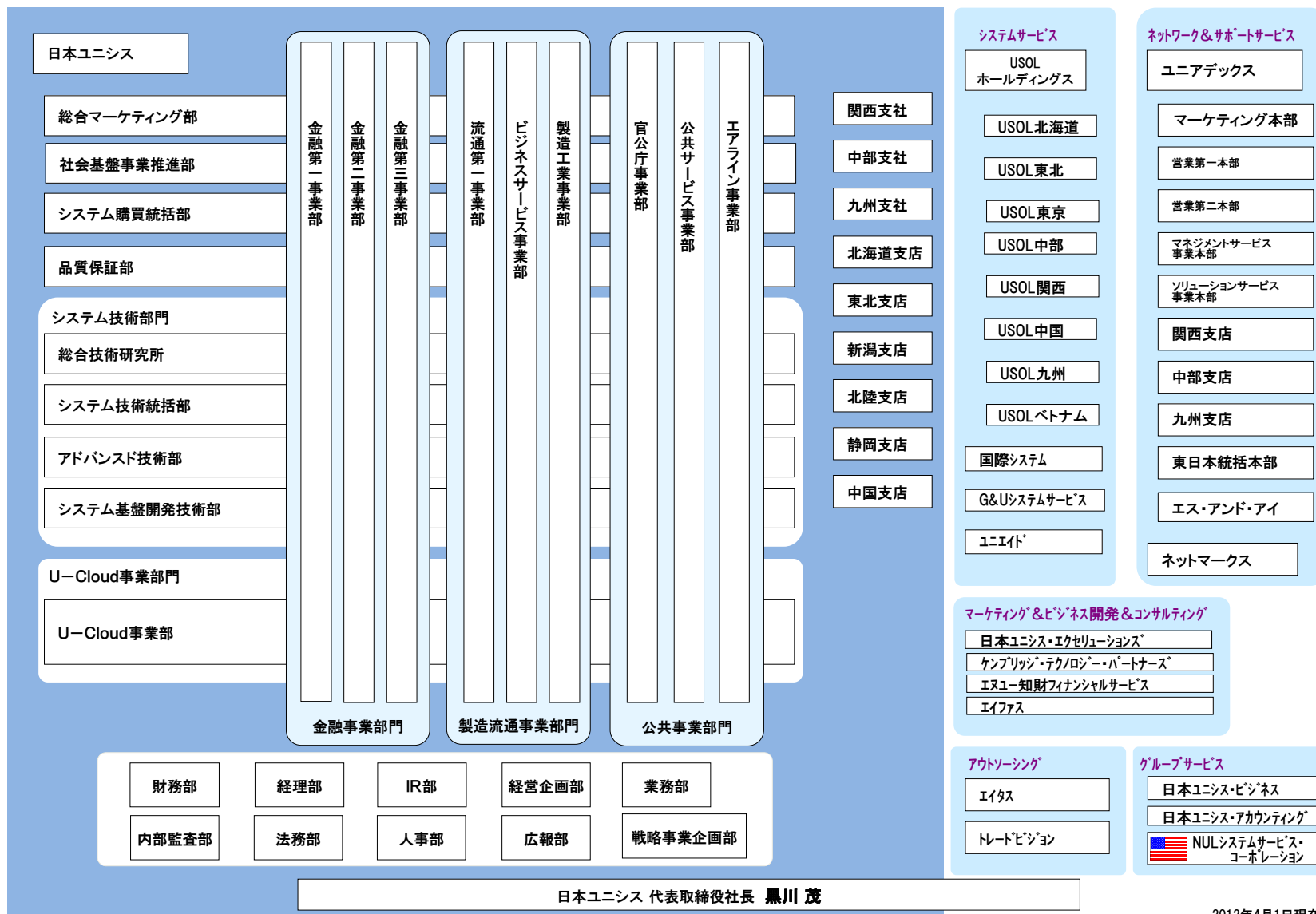


■ 当期純利益 (億円)  
—▲— ROE



# (ご参考)2012年度 日本ユニシスグループ体制図

お客様



2012年4月1日現在

# U&U

Users & Unisys

# UNISYS

**(注意)**

本資料における将来予想に関する記述は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。実際の結果は、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予想と異なる可能性があり、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。